# HEK293-CD20

305987

□要

□明

□責事項：細胞株の表示価格は、学術機関および非営利団体のお客様のみを対象としています。営利団体のお客様の場合、価格は約6,250ユーロとなります。
営利団体に所属されている場合、またはどちらのカテゴリーに該当するかご不明な場合は、
弊社までお問い合わせください。

HEK293-CD20細胞は、ヒト胚性腎臓293（HEK293）細胞を改変し、主にBリンパ球に発現する非糖化型膜貫通リン酸化タンパク質であるヒト CD20（MS4A1）を安定的に発現するようにしたものです。 CD20は、B細胞の活性化、増殖、分化、およびカルシウムシグナル伝達の調節に関与しており、血液悪性腫瘍や自己□疫疾患において最も広く検証されている治療標的の一つとなっています。安定したHEK293-CD20モデルは、抗原の制御された再現性のある表面発現を提供し、 CD20を標的とした治療薬や□疫介在性メカニズムの詳細な特性評価を可能にします。

HEK293-CD20細胞は、CD20を標的とするモノクローナル抗体、二重特異性抗体、抗体薬物複合体（ ADC）、および遺伝子改変□疫細胞療法の評価において、 □疫腫瘍学および生物製剤開発で広く使用されています。 これらの細胞は、抗体の結合親和性、エピトープ特異性、受容体占有率、内取り込みの動態、および抗体依存性細胞傷害（ADCC）や補体依存性細胞傷害（CDC）などのFcを介した□疫エフェクター機能の定量分析をサポートします。 また、フローサイトメトリーアッセイの開発、効力試験、レポーターバイオアッセイ、およびハイスループット治療薬スクリーニングワークフローにも広く利用されています。HEK293 細胞は、効率的な組換えタンパク質の発現と堅牢な細胞増殖をサポートするため、標準化されたアッセイの構築やターゲットの検証研究のための、信頼性が高くスケーラブルなプラットフォームを提供します。

| | |
|---|---|
| ティッシュ | 胎児腎臓 |
| 病気 | 形質転換／不死化；非腫瘍形成性（HEK293系） |

用途

CD20を標的とする抗体および二重特異性抗体の開発； CAR-T細胞療法；ADCC/CDCアッセイ；フローサイトメトリー；生物製剤の効力試験； B細胞抗原の研究

分類

| | |
|---|---|
| 生物 | 人間 |
| セックス | 女性 |
| 成長特性 | アドヘレント |
| **GMO**の有無 | GMO-S1 |

**GMO**のステータスに関する詳細

GMO-S1: This HEK293 cell line contains a CD20 (MS4A1) expression construct for therapeutic antibody and immune effector function studies. This classification applies only within Germany and may differ elsewhere.

| | |
|---|---|
| バイオセーフティレベル | 1 |

特徴

| | |
|---|---|
| 形態学 | 上皮様 |
| 細胞の種類 | 上皮細胞 |
| 倍増時間 | 約24～36時間 |

識別子

引用

HEK293-CD20（Cytion カタログ番号 305987）

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

| | |
|---|---|
| **NCBI** 納税者番号 | 9606 |
| セロサウルス | CVCL_A8V4 |

## 発現と感受性

発現している受容体

CD20

## 取り扱いと飼育

培地

RPMI1640、w: 2.0mM安定グルタミン、w: 2.0g/L NaHCO3（Cytion article number 820700a）

| | |
|---|---|
| 培養雰囲気 | 37℃、5%CO2、加湿雰囲気。 |

サプリメント

培地に10% FBS、1mM ピルビン酸ナトリウム、10mM HEPES、1% NEAAを添加する。最終濃度が1 mg/mLになるようにGeneticin（G418-Sulfat）を加える。

| | |
|---|---|
| 解離試薬 | トリプシン-EDTA |

継代培養

通常の接着細胞培養の場合：付着細胞から古い培地を吸引し、 PBSで洗浄して残存培地を除去する。 PBSを吸引した後、培養容器のサイズに応じて適切な量の Trypsin/EDTA溶液を加え（例えば、T25フラスコなら1ml、T75フラスコなら3ml）、細胞が剥離するまで（5~10分）室温または37℃でインキュベートする。顕微鏡で剥離を観察し、必要に応じて容器を軽くたたいて細胞を離す。いったん剥離したら、完全培地を加えてTrypsin/EDTAを失活させ、細胞を静かに再懸濁し、細胞懸濁液のアリコートを新しい培地の入った新しい培養容器に移す。容器を 37℃、5%CO2に設定したインキュベーターに入れ、 2~3日ごとに培地を交換する。

| | |
|---|---|
| 分割比率 | 1~5 |
| 播種密度 | 2~4 × $10^4$ 細胞/$cm^2$ |
| 流体の更新 | 週2~3回 |
| 解凍後の回復 | 解凍後、T25フラスコに1:2~1:3の割合で細胞を分割し、少なくとも 24時間、細胞を凍結から回復させ、接着させる（接着培養の場合）。 |

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

## 品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染は、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
細菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、細胞培養物は毎日目視検査が行われる。

| | |
|---|---|
| 凍結培地 | 凍結保存培地としては、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10%DMSO、または回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。 |

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された細胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

## 寄付者

| | |
|---|---|
| ドナーの年齢 | 胎児 |

## 法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

免責事項

当社の細胞は、試験管内での研究目的に限定して提供されるものであり、臨床的または診断的使用を意図したものではなく、ヒトへの投与や獣医学的目的に使用されるものでもありません。使用者は、研究環境におけるこれらの細胞の取り扱いと使用について、適用されるすべてのガイドラインと規制を遵守しなければなりません。

保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、細胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳細については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

| | |
|---|---|
| 第三者との契約が適用されます | Yes |

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB